

福島県立医科大学医学部神経精神医学講座内 NPO 法人東北精神疾患死後脳・DNA バ
ンク精神疾患死後脳研究のための脳組織提供に承諾いただいた方へ

医薬基盤・健康・栄養研究所 生体機能分子制御プロジェクトでは、病理解剖により提供された身体的に神経・精神疾患の既往歴があるヒト脳組織を対象として脳組織に侵入する病原微生物群が人体に及ぼす影響を調査する研究を計画しました。研究目的や研究方は以下の通りです。

対象となる方の脳組織のこの研究への使用をご遺族が希望されない場合、あるいは、研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡ください。

研究課題名	健常者と精神疾患患者のヒト脳組織に局在する病原微生物群の網羅的解析
研究責任者	飯島 則文 医薬基盤・健康・栄養研究所 生体機能分子制御プロジェクト サブプロジェクトリーダー
共同研究機関	福島県立医科大学医学部神経精神医学講座 三浦 至 教授
本研究の目的	ヒト脳組織には様々な病原体が侵入することにより神経細胞の機能に重篤な症状を引き起こすことが知られています。神経組織に侵入・潜伏する病原体として、細菌 (<i>Chlamydia pneumoniae</i>, <i>Borrelia burgdorferi</i>, <i>Porphyromonas gingivalis</i>)、酵母 (<i>Candida albicans</i>)、ウイルスなどが知られています。ウイルスの中でも、日本脳炎ウイルス、インフルエンザウイルス、麻疹・風しんウイルス、ヘルペスウイルスなどは、感染急性期に様々な神経症状を呈することが知られています。 現状、神経組織に侵入するこれらの病原微生物がどのようにして活性化するのか、脳組織にどのようにして浸潤するのか詳細は不明です。そこで、本研究計画では、これらの病原微生物群の局在や病原微生物群が人体に及ぼす影響を明らかにするため、ヒト脳組織の様々な部位の臨床検体を用いて、病原微生物群の分布および病原微生物群が発現する分子群を網羅的に解析し、脳における炎症や疾患発症に関与する経路や病原微生物群を明らかにすることを目的としています。
研究期間	承認日(2021 年 11 月 16 日)より 2027 年 3 月 31 日まで
利用する試料	三叉神経節、側頭葉、頭頂葉白質、脳幹、脳室周囲の白質
研究方法	健常者と精神疾患患者におけるヒト脳組織に局在する病原微生物群の分布を免疫組織染色や <i>in situ</i> ハイブリダイゼーション法により解析します。
個人情報の取り扱い	福島県立医科大学医学部神経精神医学講座において、氏名等の個人情報を削り、代わりに新しく符号又は番号をつける匿名化を行い、福島県立医科大学医学部神経精神医学講座で厳重に管理されます。その際に、年

	年齢、性別、診断名、使用薬物、病歴、既往歴、家族歴、生活歴、生前の臨床検査に関する臨床情報及び解剖所見の情報は、本研究計画研究責任者に提供されます。
お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。 ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。 また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、ご遺族もしくはご遺族の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。 研究の成果は、試料提供者の氏名等の個人情報が明らかにならないようにしたうえで、学会発表や学術雑誌等で公表します。なお研究データを統計データとしてまとめたものについては、お問合せがあれば開示いたしますので、下記までご連絡ください。 国立開発研究法人 医薬基盤・健康・栄養研究所 医薬基盤研究所 生体機能分子制御プロジェクト サブプロジェクトリーダー 飯島 則文 TEL:072-641-9897 E-mail:nijima@nibiohn.go.jp

※これらの研究成果は学会や学術論文として発表することになりますが、発表後に参加拒否を表明された場合、すでに発表した論文等を取り下げることはいたしません。